

RKM会報

Vol.18

2019年10月発行

編集・発行：RKM 幹事会事務局：桑水流正邦（くわするまさくに） 〒132-0035 東京都江戸川区平井 4-26-9 渡瀬方
メールアドレス：rkm634@rkm634.jp
ホームページ http://rkm634-jp.sakura.ne.jp/

令和元年度総会報告（2019年6月6日木曜）

令和最初の総会は日本教育会館（神田一ツ橋）にて18時30分から開催し、25期から92期までの計52名が集いました。残念ながら新入会員93期7名（進学2名、浪人5名）は勉強のため出席出来ませんでした。

総会の部は、この一年間に訃報を受けた2名の会員のご冥福を祈り黙祷を捧げた後、36期久我昭雄会長挨拶、若手会員の紹介に続き、幹事会から活動状況・次年度計画が報告・提案され、満場の拍手をもって承認されました（詳細は同封の資料をご参照下さい）。

会長挨拶（要旨）

現在高校生はインターハイ予選の4回戦に勝ち進んでいます。6月9日に八王子高校にて4回戦（対自由が丘学園）と5回戦のダブルヘッダーがあります。会場に行ける方も行けない方も、応援してあげてください。



久我会長

去年は、中学生と彼らをボランティアで教えている若手コーチ陣をどう支援できるかということをお話しました。結果皆さんのご支持をいただき、RKMから特別支援金10万円、さらには34期以降の有志の「いい加減な会」から10万円を中学支援に寄付して頂きました。

これらは、練習や試合を録画するためのタブレット端末、ボールハンドリング技術を向上させるための道具類などの購入に充てました。皆さんありがとうございました。

しかしながら、さらに進んで中学コーチに定期的に謝礼を出すためには、恒常的な収入、特に若い会員の会費納入率を上げる必要があると幹事会として認識していますが、残念ながら現時点で見るべき進展がなくさらなる工夫が必要です。

寄付を募ってファンドを設けるという方法については、私的な団体では税制のメリットもなく、またその管理も大変難しい問題をはらみます。さらには、中学生を支援するというのにはいろいろな道があり、何が我々の目指すべき道かも、必ずし

も煮詰まっております。会員の皆さんや幹事の方々でもう少し考える問題があり、中学コーチをして頂いている方々には大変申し訳ありませんが、今後の努力と進展待ちです。

私としては非常に行き詰っていますが、ここに高校中学の体育館の空調設備設置という学園の問題が起きてきました。近年の猛暑の中、冷房のない体育館での練習は命の問題であるとして、今春学園側が急遽空調設備を備えてくれました。但し学園としては中高経営の厳しさのなか、寄付を募って理科棟を新設したばかりで非常に苦しい状況にあり、体育館を利用する各部OB会に寄付要請が出ております。もちろん、冷房設備は学園側の当然備えるべき施設ではありますが、我々から見ると、現役支援として、使途もしっかり判っており、税金控除の特典もあり、さらに、RKM36期池田康夫学園副理事長、41期落雅美同窓会長からも、支援要請が来ていることから、皆さんにご協力願うことで、昨年申し上げた現役支援の一環とらえていただければと考えています。既に5月末現在27名の方々から合計2,173千円のご寄付が集まっています。私としても昨年申し上げたことが進展しない自責の念もあり、50万円寄付しようと思っております。遺贈としてなにかしかを寄付しようと思っておりましたが、元気なうちに協力することにしました。多くのOBの皆さんのご協力をお願いします。

もう一つ大事なご報告があ



ります。29期の川浪茂男さんには、特にお願いして「100年史発刊プロジェクト(アーカイブプロジェクト)」のリーダーとして、2012年から毎回の幹事会にご出席頂き、貴重なご意見とご指導を頂いてまいりましたが、ご本人からのお申し出もあり、幹事会へのご出席はなくなります。特別な立場をお願いしてきたため、通常の幹事交代とは違いますが、長らく我々をご指導頂き、貴重なご意見に本当に感謝致します。ありがとうございました。

実は川浪さんにお詫びしなければいけないことがあります。川浪さんから「そろそろ幹事会への出席を勘弁してほしい」というお話を頂いた際、副会長、幹事長と相談したところ、次の幹事会の時に突然、「川浪さんは今回でお辞めになります」という発表になってしまい、ご本人は大変驚かれたのではないのでしょうか。申し訳ないことを致しました。考えてみると、我々は先輩のおっしゃることは絶対と思って育ってきた証しであり、RKMの良き、または悪しき伝統ですでお許しください。そして次回、私が会長を辞める時には、幹事の皆さんも、指名される次期会長の方も、四の五の言わずに即了解するようお願いいたします。

幹事会報告(要約)

決算では、過年度分3件を含むものの、75万円の会費収入を達成すると共に、多くのご寄付を頂きましたが、中学生支援を行ったこともあり、繰越金は約5万円目減りしてしまいました。今後アーカイブ活動が本格化することや、現役支援を強化したいと考えていることから、特に中堅若手の会費納入率の向上策を検討中で、銀行引落、ゆうちょ銀行への振込に加えて、コンビニやスマホでも支払える方法を導入予定です(詳細は同封の資料をご参照下さい)。

活動としては引続き、総会、元旦バスケ、ホームカミングデイ、ゴルフ会、会報発行、ホームページ運営に加えて、現役の試合応援、経済的支援を行います。高中と同窓会では「部活動指導員」の導入を検討中であり、RKMとしても協力していく考えています。

懇親会

26期清水幸さんの「昔は勝てば総会出席者も会費や寄付も沢山集まった、昔のコートを知っているので体育館に空調があると聞くと『すげえな』と思いますが、今の環境を生き抜くにはそれなりの努力が必要でしょうから、OBの皆さんも健康に留意して下さい」との挨拶で乾杯。



26期 清水さん

41期落さん、36期池田さん、そして息子さんが中三で活躍中の62期小林央さんから、空調機寄付および現役支援へのお礼が述べられました。

引続き、プロコーチとして日立戸塚を全日本優勝に導いた34期榎本日出夫さんから、「杉野女子大を学生日本一にした時、畑公から日本の一位を目指せと言われ、29期佐室有志さんのご尽力で日立戸塚のコーチとなり全日本で優勝できた。43期前後の当時の現役・若手OBにはよく練習台になってもらった。男子と一緒にプレーすることに会社の抵抗があったが、武蔵生は無害だからと説得して許してもらった。畑公からは『バスケは基礎だ、基礎を外れたらバスケにならない』と言われ、負けた時は基礎を見直すことで強くなった。」との紹介がありました。29期佐室有志さんにも当時のお話をお願いしましたが、それは墓場まで持っていくとのことでした。



34期 榎本さん

中学コーチ86期宇野宏泰さん、同中村海さんから、「他校にはミニバスを経験した選手が多いなか、武蔵はほとんどが未経験者だが、自分達で考えさせるようにし、体格・体力・技術ともまだまだだが、バスケを理解しつつある」との紹介がありました。中村さんは今期で退任し、92期楠田友春さんが引継ぎますので、今後も応援よろしくお願いします。

その後、会議後に駆けつけて頂いた山崎正晴先生に、久我会長から現役支援金が贈呈されました。

さらに、47、48、49期有志で作成した「へばったらがんばれ」と白雉をモチーフした現役応援タオルを紹介し、その場で3枚を寄付込み5千円でお譲りしました。



92期 楠田さん

最後に25期平野精土さんに、「光が丘であった高校生の試合を見に行った、お母さん達や若手OBの応援がすごかった、昔東京や全国で優勝した時でもこんなに応援なかった、皆の力で盛り上げよう」との締め言葉の言葉を頂きました。

そして集合写真で皆さんが揃ったところで、長年幹事を務めて頂いた29期川浪茂男さんから「耳が不自由になり会議の時に聞きづらくなったので辞退することにしたが、100周年まで元気で頑張るので、皆さんも幹事会を盛り立ててください」との挨拶を頂きました。



山崎先生インタビュー

・先生は何年から武蔵で教えていらっしゃるのですか？

1997（平成9年）に武蔵に来ましたので、高3を教えたのは74期で、高1-3まで見たのは76期からということになります。もう20年たちましたね。

・毎年変わる高校生に対して、どういうチーム作りの考え方をしているのですか？

目標を東京都 Best16 に置くと、大会中にダブルヘッダーの回戦があるのでそれに勝つ体力が必要です。

現在のバスケットはスピーディーなゲーム展開が主になっています。そういう上位チームを相手にするということは最低限ゲーム体力が求められます。その体力をどう使うか、下位の回戦では走り切つて相手の失速を誘い、上位の回戦ではゲームスピードをコントロールしてミスを少なくし体力的に失速させない形で少ないチャンスを狙う、などゲームに応じて体力の出力を変えたいと考えています。

個々の運動能力が飛び抜けた生徒がいないので、このような考え方に至っています。

その走力をベースにオールコートプレス、ハーフコートマンツーマン、ゾーンなどを駆使し相手に考える時間を与えず相手のペースを砕きやりたいことをやらせない、あるいはプレーの精度を低下させる、ということです。オールコートプレスはその中の一つの局面でしかありません。

オフェンスは、40分やって2点勝っていればいいという考え方で、確率の良いシュート或いは $+α$ （ファウルをもらう）ことができるプレイすなわちドライブインを積極的に行わせ、ゲームの終盤にファウルトラブルを招かせられるようにしている。

また、練習ゲームを多くやることによって試合に慣れさせゲームでの対応力・臨機応変に動けるようにトレーニングさせている。生徒が公式戦で緊張しないようにということもある。また、畑先生からも「練習ゲームをしてやってほしい」と言われた経緯がある。

・山崎先生らしさ、武蔵らしさ・・・というものはありますか？

今のバスケは、オフェンスにかかる時間の制約があります。24秒或いは14秒です。ゆっくり考え対応することがルール上難しくなっています。ということはコート上の選手の対応力が重要になってきます。

そこで大切にしていることは、オフェンスでは1on0を作る努力、ディフェンスでは1on1+ $α$ で守る、ということ。

特にオフェンスでは、いくつかのプレイの中で2対2、3対3をオートマチックに動いてゴールを狙う。さらに言うとディフェンスリバウンドからゴールアタックするまでです。

これといった決まった形がないように見えるのが、いまの武蔵バスケットだと思う。

・今年のチーム作りの特徴はありますか？

この2-3年、プレイの中で2~3の選択肢を自分で考え表現させる、このことを身につけさせようとしている。

そうすると、選手個性の組み合わせ方でいろいろな形、すなわちアメーバのような動きができるチームになる。

そういった意味から言うと今年のチームはチームのルールの理解はあるのだが個が弱い。なので例年以上に試合当日に“いける子”“いけない子”の見極めが大切で、ゲームにマッチさせる難しさが出てきている。

・昨今の生徒に対する指導の難しさみたいなものは感じますか？

武蔵に来たころの生徒は、練習に来てくれる大学生をやりこめる、こらしめるくらいの“やんちゃ”な高校生が多かった。しかし、最近の高校生は「飼いならされた猫」の集団で、言われたことしかやらない・・・例えば試合で調子よくシュートが入っているのに、図に乗って同じことをやらずに途中でやめてしまう・・・。小学生の時、「出る杭は打たれるの言葉どおり打たれてきた子^{*1}」が多く入学してくる。開成には入れないが、武蔵なら・・・とチャレンジしないで入ってきた子という印象。

「枠が決まっている」と思ってしまう。自分で Try & Error をして枠を大きくして欲しいのだが、Error を恐れている子が多い。

子供たちの将来の伸び代はあるので、成人した時に“Yes-man”でなく、“考える作業をして、正しい判断ができるよう”練習を通じて伸びてほしいと考えている。

※1「出る杭は打たれるの言葉どおり打たれてきた子」

この意味は、昨今の低年齢時の教育というものに起因していると考えている。先生達が扱いやすい生徒を望むため、元気がよく能力がある生徒は煙たがられ抑えられがち。また生徒同士の摩擦が保護者対応の難しさを招くので静かに過ごしている生徒が良しとされる傾向。

結果リーダーシップを持ちいろんなことへの興味を持ったバイタリティーあふれる子たちは育ちにくくなってきている。ある意味先生達のリスクマネジメントの結果が現在の社会を招いている気がする。



・OB会 (RKM) への更なる期待・要望は？

用具やトレーナーなどへの援助は大分やってきていただったので、次のステップとしては、中学に指導に来てくれる若手OB (大学生) をバックアップすることを検討して欲しい。

大学生OBは授業のしぼりなどあり、指導にきてくれることが結構きつい状況。

中学生にバスケットを「面白い」と思ってもらえること、これが大事だと考えるので、先輩が熱意をみなぎらせてやっているそれが伝わるとし、「しっかりやらなければいけない・・・」という意識も生まれるだろう。

バックアップの仕方としては、金銭的な支援 (学校からは

1回千円しかでない) や就職サポートなど大学生にとって、中学生を指導する時間をつくるのが不利にならないようにしたい。

また、学生OBや若手OBから高校3年生へのアドバイスなどしてくれる機会がもてるといい。

最近の大学生に余裕がないのだが、合宿の時には20人以上のOBが来てくれるので、そのような機会をうまく活用できれば・・・と思う。

畑先生が言われていたのだが、「疲れたOBが体育館に気分転換・遊びに来られるよう」な雰囲気・交流を作り上げたい。

高中体育館空調機設備導入に伴う寄付へのお礼

同窓会を通じての学園からの要請であった標記寄付に対し、大勢の方々から支援があり、最終的に3,169,000円の寄付が集まりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

今後は体育館設備だけではなく、中学コーチを担ってくれている若手OBに対する金銭的支援も実施していきたいと考えており、同窓会、学園とも相談しているところです。

また、寄付だけではなく、定常的な会費納入も重要な

要素ととらえており、下記に記載したとおり、会費支払方法の利便性向上を図りました。

多くの会員の皆様の継続的なご協力を是非お願いします。



『へばったら頑張れ』 (当初は『へばったときこそ頑張ろう』) (29期 主将 川波茂男)

『へばったら頑張れ』

この言葉は覚えやすく言いやすく、「畑語録」の中で日常の仕事・生活の中でも思い出させられる場面に出会う機会が最も多い言葉だ。私は、この言葉はわれわれ29期のチームの活動の過程で生まれた・・・畑先生が言い出されたと理解している。

この言葉がどの様にして生まれ、どの様な意味を持ち、どのように役立ったか。私の体験から思い起こして皆さんにお伝えする。

★ 生まれる端緒は合宿中の夜の会合にあった。

冬休みと春休みの期間中にそれぞれ1週間程度の合宿練習が行なわれた。大宮公園体育館(埼玉)、秋田営林局体育館、四街道(千葉) ? 体育館=戦時中の飛行機格納庫を改造)、新発田小学校体育館(新潟)。

合宿中は毎晩夕食後に全員で「会合・・・話し合い」が行なわれた。3時間にも及んだときもあり、コート上の練習と同等の重要なプログラムだった。畑先生の指導・説明や様々な話しがあったが、昼間の練習の状況についての選手同士の話合いも活発で、個々の練習・ドリルについてその狙い、要点、注意すべきことなど、効果的な練習については試

合で効果的なプレイが実行できることを目的として、関連する様々な話しが行なわれた。

いずれの合宿に於いてかは忘れたが、その会合で先生から次の話があった。

・練習中や試合中に単なる励ましの大声「頑張れ」をのべつに出し続けるのは止めよう。

高校の運動部の活動は3年生の夏までの2年半しか無い。にも拘わらず、他校の練習を見ると殆どの学校・チームで1年生では上級生の練習を周囲で大声を出し続けながら見ているだけのことが多く、3年生が抜ける秋になってようやく実質的な練習に就く状態となっている。さらに、そうならなくてもレギュラーとその相手を務める一部の選手だけが集中的に練習をして、その他の選手はそれを見ただけで時間が過ぎる。つまり正味では試合に出る機会の多い選手でも1年半に過ぎない。実質的な技量の向上のための行動の機会は極めて少ない。また、途切れなく大声を出すことが求められ、ただ声を張り上げることに意識を集中して、それが目的となって、その間は何も考えられないと思われる。

畑先生の練習の特徴はいろいろあるが、この点では他の

指導者とは異なる際立った特徴があった。コート上の選手は1年生の最初から最上級生まで、いわゆるレギュラー選手もそうでない選手も全員が練習中に時々設けられる一斉休憩以外は殆ど休むことが無いように仕組みられている。

個々の練習・ドリルでの順番待ち行列でも、身体は休めるがプレイ中の選手(仲間; 上級生下級生の区別無し)の状況をよく観察して考えることが求められた。

畑先生から『考えながらやれ・・・』という言葉は一度も聞いたことが無かったが、すべての個々の練習・ドリルにその目的・要点・意識を集中すべき事柄などがあって、それを全ての練習で聞かされた。繰り返し聞かされ、また、練習中に「いま何を考えてやっているか・・・何に意識を集中しているのか」頻繁に問い質された。何の考えも無くただやるだけといった練習は許されなかった。試合でも同様で、常に考えながらバスケットをやることを求められた。

★ その後のあるとき、先生から次の話があった。

これは上記に関連して、バスケットの他に野球やバレーなど他の競技も含めて他の学校(チーム)の状況から話が展開したときである。

・始まる前から「頑張れ、頑張れ」は意味が無い・・・いや、慣れっこになって効果が薄れる・・・悪い作用さえ生ずる虞がある。練習でも四六時中大声を出し続けるのは、そのことに神経を奪われて「考える」ことは困難だ。何も考えずにその場にいるとしか思えない。

・開始直後の元気なときは廻りから声を掛けなくても誰でも精一杯やる。肝心なのは肉体的にも精神的にも疲労が溜まってきたときだ。

・練習でも試合中でも疲れてきたときは、密かに回復を諮ろうとする・・・つまり力を抜く、やるべきことを省略しがちとなる。こちらが疲れたときは相手も疲れているのだ。そのことを気付いて頑張った方が優位に立てる。疲れたとき、へばったときはチャンス到来と考えなければならない。その時にこそ「頑張れ、頑張れ」と強く呼びかけて奮起を促す、これが最も効果的だ。

へばったときこそ「頑張れ」だ。練習でも試合中でも、プレー中の選手は勿論周りの人も、つまり練習で順番待ちの人も試合でベンチの人も応援席の人も、だ。

この話し合いから『へばったときこそ頑張れ』が生まれ、後にプレーヤー自身が自分に言い聞かせやすいように、簡

単に『へばったら頑張れ』と言うようになった。

また先生は、次に述べる経験およびその次の「畑語録に加えたい」で述べることから特に強くその重要性を考えてこの言葉を後々まで度々言われるようになったと私は感じている。

★ 『へばったときこそ頑張れ』に関して私には、インターハイ決勝戦での忘れられない体験がある。

決勝の相手は百点ゲームもやって順当に勝ち上がってきた新潟・三条高校。その年6月の関東大会の決勝戦で勝った相手ではあったが、我が武蔵の最高得点はどの大会でも1～2回戦での70点程度が精一杯。観ている人には、後に大学低学年のときから日本代表チームのレギュラーとなる二人を擁し、身長・体力・運動能力・得点力のいずれ

を見ても、誰が見ても三条高校が優勝候補の最右翼と見たことは間違い無い。しかし、遠征での連戦で5戦目ともなれば試合前から疲れは相当溜まっているが相手も疲れている筈だからチャンスはあると自分に言い聞かせていた。

前半終了時に19対27で8点負けていたが、ディ

フェンスに注力して相手の得点を低位に押さえ込むという思惑どおりの運びだった。終盤までにこの差を少しでも詰められれば、最後に「伝家の宝刀を抜く」、つまりミッチリ練習してきたプレスディフェンスを仕掛けて逆転したところでタイムアップを迎えて勝てる、ハーフタイムの休憩中にはそんなことを考えていた。

あと約3分のところで3点ビハインドまで追い上げた。そこでタイムアウト・・・3 / 2ゾーン・プレスの指示が出た。試合開始から精一杯のディフェンスが続き相当の疲労を感じていたが、「へばったときこそ頑張れ・・・今だな」と自分にも言い聞かせながら皆にも強く呼び掛けた。

プレイ再開は相手のスローイン。さっそくレシーバーと想定される相手に二人掛かりで詰めたとき相手のパスミスが出て我が方のオフェンスとなった。これを着実に得点に結び付け、以後まことに思惑どおりの展開で、43:38でタイムアップを迎えた。観客や大会関係者には奇跡の逆転と映ったと思われるが、自分では「うまくいった」程度で想定内のことと思っていた。

「へばったときこそ頑張れ」が勝利のカギとなったことは疑いが無い。

先生は練習・準備してきたとおりの展開と結果・・・大成功



と受け止めておられたに違いない。

この経験は翌年のチーム以降に生かされ、発展されて3年後のチーム(32期)で最高の力を積み上げられた。また、以降長年に亘っていつの年代でも武蔵バスケット部で活動される諸君に「へばったら頑張れ」を指導されてきたことをご存じのとおりである。

★「畑語録」に次を加えたい

僭越だが、「畑語録」(=「バスケットする心」)の8頁体力の限界というな、「へばったら頑張れ」に下記を加えたい。「バスケットする心」では「へばったら頑張れ」の内容は、ある程度体力を消耗したときに「どうしてもやろう」という気持ちを無くすことになりがちなので、普段の練習の時からそれを乗り越えて必要なことをやり遂げる心の習慣を身につけようということを述べている。

しかし、「へばったときこそ頑張れ」にはさらに成長するための重要な意味が含まれている。

持久的体力のみでなく筋力や身体を動かす能力のほか精神力も含む人の能力全体に言えることである。私はバスケットの時だけでなく、卒業後も生活や仕事のいろいろな場面で「へばったら頑張れ」と同時にこれを思い出しながら努力し実践して何度もこの言葉の真実を実感した。

この内容は私の考えではなく、畑先生から聞かされたこと

を思い出しながら文章にしたものである。先生の言葉と受取ってもらいたい。

毎度へばったときに力を抜いたり休んだりしていたのでは力も技量も伸びない。極限にへばったとき、つまり限界に達した状態こそ能力を向上させる準備が出来た状態である。その状態のときもう一段頑張っはじめて、つまり100%の状態頑張ったときにはじめて現状を上回る能力が身につく。上廻った部分の何割かが積み上がり、これを何度か繰り返すことで積み上がった部分が実力となり、一段と成長した能力の持主となるのである。そうなれば成長した状態があらたな100となり、これが繰り返され積み上げられて能力向上してゆく。

へばったら力を抜いたり休むのでは、それまでに使ったエネルギーと努力が何の成果も生み出すこと無く無駄になるだけである。まったく勿体ない。

私はこの話しはいつも「へばったら頑張れ」と組合せて、同時に語り伝えられるべきものと考えている。つまり、単に「へばったときはチャンス到来・・・頑張った方が勝つ」とは別の意味もあるのだ。

「まったく勿体ない」と名付けたらどうでしょう。

新入会員 93期 紹介文(渡辺 凜)

私達93期は中学時代は10人、高校にあがったあとは7人で活動してきました。

ほとんどが未経験者だった中学時代に僕達を指導して下さったのは、87期の高木コーチ、木本先生や津田先生、多くのOBの方々でした。週3回の練習の中で、ドリブル、パス、シュートといった基礎から教えていただきました。春休みには昨年度同様合宿を行い、高木コーチをはじめとするOB

の方々に加え、山崎先生にご指導頂きました。夜練では練習試合とは少し違い、体格の違うOBの方々に全力で挑みました。中学3年の最後の私学大会では惜しくも3位に終わりましたが、その中で高校での課題を見出しました。

高校生と合流すると、技術やその雰囲気にも圧倒されたのを覚えています。練習日も週3日から4日へと増え、体を慣らすのが大変でした。高校生との初めての校内合宿では、先輩方に混じって必死に食らいついていきました。

最高学年になると、手探り状態ではありましたが、次第にチームが出来上がっていきました。私はキャプテンをやらせて頂きましたが、力及ばないことが多々ありました。そんな時に支えてくれたのは同期であり、後輩であり、卒業した先輩方でした。新人戦支部大会では都ベスト32となり、7年振りの本大会出場を果たしました。同期からは8年振りに4支部選抜が選出されました。それは大いにチームの刺激となり、支えでもありました。本大会では残念ながら初戦敗退ではありましたが、その経験はその後の自信になりました。続く関



(前列左からマネージャー岡田、大西、副CAP田中(支部選抜)、CAP渡辺、澁谷、猪俣、南向、中列は94期、後列は95期)

東予選、インターハイ予選では思うような結果は出ませんでした。しかし、中高 6年間仲間と共に続けることが出来たこの部活動は、長い人生の中でも貴重な経験でした。

毎回試合に見に来てくださった RKMの方々、練習を見て頂いた木本先生や津田先生、そして部活動だけでなく、どんな時でも厳しく指導して頂き、心も身体も成長させてくださった山崎先生に改めて感謝申し上げます。こんなにたくさんの OBの方々や先生に支えられてここまでできました。次は僕達が OBとして現役の手助けができればと思っています。

6年間ありがとうございました。

現役公式戦試合結果

★ 高校 (高二～高三 94期)

新人戦 第4支部大会

2018年10月21日 @武蔵

武蔵○116-44都大山

2018年11月3日 @都小平南

武蔵●74-76都小平南

関東大会都予選 Bブロック

2019年4月14日 @武蔵

武蔵○77-65明星学園

2019年4月21日 @武蔵

武蔵○98-74啓明学園

2019年4月28日 @海城

武蔵●57-63立教池袋

インターハイ都予選 Cブロック

2019年5月19日 @武蔵

武蔵○58-55都福生

2019年5月26日 @武蔵

武蔵○104-41桜丘

2019年6月2日 @武蔵

武蔵○100-51法政大高

2019年6月9日

@八王子学園八王子高校

武蔵●76-97自由が丘学園

★ 中学 (中二～中三 97期)

練馬区新人大会

2018年10月8日 @南ヶ丘

武蔵○59-42大泉西

2018年10月14日 @石神井西

武蔵○95-17光が丘第三

2018年10月21日 @石神井東

武蔵○74-51光が丘第一

(練馬区ベスト4)

決勝リーグ

2018年10月28日

@光が丘第二

武蔵●37-57開進第一

2018年11月4日 @大泉中

武蔵●石神井西

武蔵●谷原

都春季大会予選 第三ブロック大会

(練馬・中野・杉並)

2019年4月21日

@杉並区立井草

武蔵○80-30杉並区立杉森

2019年4月28日 @中村

武蔵●48-60中村

練馬区総合体育大会

2019年6月9日

武蔵○88-46 学附国際

2019年6月16日 @中村

武蔵○78-26大泉第二

2019年6月23日

@谷原総合体育館

武蔵○67-49貫井 準決勝

武蔵●41-90石神井西 決勝

2019年6月30日

@大泉 三位決定戦

武蔵○51-45開進第一

11年ぶりに都大会進出

都総合体育大会

2019年7月21日 @明大明治

武蔵●49-66武蔵村山第五

(111地区一位)

(11-17、9-15、10-21、19-13)

【86期 中村海コーチ】

都大会の会場、雰囲気少し飲まれてしまった結果、自分達のバスケが出来ない試合でした。指示が通るまでかなりの時間がかかってしまいました。また、相手の都選のエースを止めることができなかったことも敗因だと思います。もっと良い戦略を試合中に練るべきであり、勝てない試合ではなかったと思っております。その中でも試合中試行錯誤し、色々な手だてを考えて実行しましたが、4クォーターまでに間に合わなかったというのが個人的な所感です。最後まで相手のスタメンは出続けていたことも彼らの自信には繋がっているかと思えます。試合を観に来て頂いた保護者、OB等には大変申し訳ないと思っております。それでも、彼らは自分の想像を越える成長を見せてくれました。生徒がどうやったら恥をかかない結果を残せるか、必死でした。高校バスケを最後までやっていない自分のつたない指導を最後まで信じて、真剣に取り組み、結果を出してくれた彼らには本当に感謝しかありません。単なる教え子ではなく、最高の仲間だと思っております。また、練習や試合、それ以外にも様々なご協力を下さった OBの皆様、本当にありがとうございました。今後、彼らが高校に上がった後も遊んでいただけるとありがたいです。

お忙しい中、様々な協力をしてくださった川端先生、通堂先生をはじめとした顧問の先生方、および、山崎先生、木本さん、本当にご迷惑をおかけしました。自分を信じて中学バスケット部を任せて頂いたことに本当に感謝しています。これまで三年間、自分なりに試行錯誤し、どうしたら現代の若い子達に通じる指導が出来るか試行錯誤してきました。その結果私自身も大きく成長することが出来ました。応援して頂き本当にありがとうございました。自分の同期の宇野と、92期の楠田が中学コーチを引き継ぎます。彼らは熱意を持ったコーチで、本当に頑張っしてほしいなと思っております。今後とも高校バスケットに限らず、中学バスケットも応援していただけると幸いです。これで、自分からの中学バスケットへの報告は最後とさせていただきます。

今まで本当に本当にありがとうございました。

2019 年元旦バスケット

今年も大勢のOBおよび現役が集まりました。集合時の集合写真を掲載します。

2020年元旦も【13時集合～15時解散】としますが、その前後でもコートは利用できますので、現役当時のメンバーを誘ってお集まり下さい。



ホームカミングデイ報告

前会報で報告できなかった2018年と今年の報告です。徐々にプレーする世代の交代が進んでおり、2018年には54期の5名が揃い、今年は79期が3人揃いました。

また、今年は、プレーはされませんでした。30期木村さん、32期佐室さん、35期楠さん、36期久我さん、38期竹林さん、38期菊田さんが現役にアドバイスして頂きました。佐室さんからは「是非大学に進んでもプレーして欲しいとの強い要望がありました」。



2018年FT大会



2018年54期メンバー



2018年 RKMホームカミングデイ



2019年
FT大会入賞者



2019年RKMホームカミングデイ

フリースロー大会結果 (敬称略)

2019年9月21日

OB 優勝:79期山崎、二位:86期宇野、三位:78期木本
高校 優勝:高1高橋、二位:高2二木、三位:中3石倉
中学 優勝:中2関根、二位:中1窪田、三位:中2金井

2018年9月22日

OB 優勝:58期松本、二位:86期宇野、三位:78期木本
高校 優勝:中3吉岡、二位:中3高橋、三位:高2板橋
中学 優勝:中2小林、二位:中2京増、三位:中2菊池

RKMゴルフ会の報告・お知らせ

令和最初のゴルフ会は2019年10月16日に埼玉県
嵐山カントリークラブにて開催、直前の台風の影響が心配
されましたが、さわやかな天気のもと、17名が参加。成
績は下記のとおりです。前回、前々回の結果も掲載します。

次回は2020年5月27日(水)に千葉県のブリック&ウッ
ドゴルフにて開催します。

優勝:34期 丸瀬宜雄さん、
準優勝:32期 佐室瑞穂さん、
三位:31期 東 恭平さん、
ベストスコア:東さん

【平成30年秋季大会】

2018年10月17日(水) 埼玉県・嵐山カントリークラブ
17名参加

優勝:48期 福本淳一さん、
準優勝:31期 東 恭平さん、
三位:40期 井上清英さん、
ベストスコア:東さん

【平成31年春季大会】

2019年3月13日(水) 千葉県・浜野ゴルフクラブ
16名参加

優勝:31期 東 恭平さん、
準優勝:36期 飯島靖樹さん (テニス部)、
三位:29期 川浪茂男さん、
ベストスコア:東さん、36期 池田康夫さん



令和元年秋 RKMゴルフ会

2019.10.16
嵐山カントリークラブ

【物故者】

2018年10月以降に訃報をお受けした方々です。
謹んでお悔やみ申し上げます。

22期 近藤 洋一 様 2018年5月23日 ご逝去

28期 吉田 達 様 2019年3月12日 ご逝去

編集後記

年会費納入の利便性向上作業のため、会費発行が遅れてしまい
申し訳ありませんでした。

従来の「自動引落」、「ゆうちょ銀行への振込」に加えて、「コン
ピニでの支払い」、「スマホ決済(PayB)」も可能となりました。但し、
新方式の支払期限は12月末となっておりますので早期の手続きをお願い
します。詳細は同封の資料をご覧ください。(桑水流)